

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	当院における腎機能低下を伴う多発性骨髄腫患者の治療成績
研究責任者	血液内科 佐藤広太
研究機関名	日本赤十字社医療センター血液内科
研究目的と意義	腎障害は代表的な骨髄腫診断基準の一つです。海外の報告では、腎障害は新規発症骨髄腫患者さんの約半数に認められ、約 18%の方が eGFR<30 (mL/min/1.73m ²) の高度腎障害を呈し、約 10%の方が血液透析を要するとされます。骨髄腫治療薬の中には、腎機能障害時に使用を避けたり減量したりする必要がある薬剤もあり、診断時の腎機能障害の存在による治療選択への影響が、その後の経過に与える影響を解析し、腎機能低下時の、より適した治療戦略の確立につなげていきたいと考えています。
研究方法	<p>2016年1月から2019年12月の間に当センターで多発性骨髄腫と診断された患者さんのうち、治験症例を除き、診断時点で eGFR<60 の腎機能障害を有していた患者さんを対象とします。腎機能障害を 30< eGFR<60 の軽度低下例と eGFR<30 の高度低下例に分け、カルテ情報をもとに治療内容や最良奏効、安全性などについて後方視的に解析を行います。</p> <p>倫理的配慮：上記解析は、個人情報保護に十分配慮した上で行います。情報は、個人名が特定されないようすべて匿名化されます。上記対象に該当される方で、本研究への登録を希望されない場合は下記までご連絡ください。登録を希望されない場合でも、診療上不利益を被ることは一切ありません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 血液内科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22 担当者：佐藤 広太 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>